

庁議の概要

開催日 平成 30 年 1 月 4 日（木）

◎項 目

- 1 年始の知事からのあいさつ【知事】
- 2 各部局等の今週の動きについて【各部局等】

◎内 容

1 年始の知事からのあいさつ【知事】

県政浮揚に向けた歩みを確固たるものにするよう、皆さんとともに取り組んでいきたい。

まず、仕事始め式での話の補足として 3 点申し上げる。

1 点目は、各施策を統合してより大きなシステムに作り上げていこうということである。これまで展開してきた様々な施策を礎に、県政浮揚に向けた施策の方向性に確信をもてるような、全体を統合するシステムをしっかりと組み上げてほしい。長寿県構想における高知版地域包括ケアシステムや高知版ネウボラ等は、これまでにパーツひとつひとつを組み上げてきており、十分可能な段階にある。

産業振興計画については、地産外商の取り組みを拡大再生産の好循環に乗せていくため、成長の壁を乗り越える取り組みと成長のエンジンをより強化するプラス面の取り組みが重要である。

成長のエンジンの強化に向けては、より中長期的な視点をもって、付加価値を意図的に創出することが重要である。また、本県経済の取引の範囲を広げていくことも極めて重要であり、地産外商をしっかりと強化することは大事であり続ける。先々に渡って成長を確保しようとするれば、常に新しい分野に進化できるようインセンティブをつける政策が極めて重要であるのでよろしく願います。

他方で、マイナスの側面に対処することも重要である。最大の課題である人手不足に対しては、第一に、人材の育成・確保をしっかりと図ることが重要である。特に移住施策や若者に高知に残ってもらうための施策はしっかりと強化していきたい。第二に、効率化や省力化を促す取り組みも重要である。

さらに、プラス面を伸ばすことと、マイナス面を克服することの両方にとって重要であるのが、事業戦略づくりである。各分野において取り組みを強化していけるよう、よき作戦を予め練っておくことが非常に大事であるのでよろしく願います。

こうした拡大再生産策について、もう一段大きな図柄を組みあげ、次回のフォローアップ委員会等に臨みたい。

2 点目に、全国区の視点を持ち、全国との競争を意識してほしい。地理的アドバンテージのない本県にとっては、全国に先んじた施策を講じることが重要であるので、注力してほしい。

3 点目に、本県の先々に渡る成長を確保するために、各分野における人材育成の取り組みを充実させることが重要である。

次に、基本姿勢に関して、幹部職員の皆さんには次の 4 点を申し上げる。

1 点目に、誤りを速やかに正すことができる職場の雰囲気づくりが極めて大事で

ある。見直し等が必要となった施策を速やかに正せる組織であるよう心がけてほしい。

2点目に、悪い話は、速やかに上に上げて組織的に対応することが重要であるので、悪い話ほど上に上がってくる組織づくりに取り組んでほしい。

3点目に、スクラップとアウトソーシングを徹底してほしい。県庁全体の業務は増加してきており、的確にスクラップをしなければ、マンパワー的にも予算的にもキャパを超えてしまう。加えて、職員の心身の健康のためにも、また、民間の活力を活かすという観点からも、スクラップを徹底し、アウトソーシングを行うことは重要である。

4点目として、職員ひとりひとりのコンプライアンスをしっかりと確保することは重要であり、不断の努力が必要なことでもあるので、この点について、改めて徹底してほしい。

2 各部局等の今週の動きについて【各部局等】

各部局等の今週の動きに関する資料を配付の上、各部局等による概要説明及び協議が行われた。

<主な協議の概要>

○ 日本一の健康長寿県構想推進会議について

(地域福祉部)

1月11日の健康長寿県構想推進会議に向けて、高知版地域包括ケアシステムや高知版ネウボラ、発達障害への対応等について協議を行う。

また、今年度中に第7期介護保険事業支援計画、自殺対策行動計画、第5期障害福祉計画、子ども条例に基づく計画等の改定等を行う予定であるので、関係部局の協力をお願いする。

○ 教育大綱関連施策について

(知事)

教育大綱に関する施策が出そろい、本格実行段階となる。例えば、チーム学校の取り組みにおいては、うまく陣立てを組むことにより、結果として今までよりはるかに効率的・効果的に学力向上やいじめ問題などに対処できるようになったことなどを、現場にも徹底してほしい。「なぜこうした取り組みを行おうとしているのか」といったことを現場ともしっかり共有し、PDCAサイクルを回すということが単純な業務の追加ではないことを徹底してほしい。